

令和2年度後学期授業について

医学部生・大学院生の皆さんへ

保護者の皆様へ

後学期授業が始まり、学生・ご父母の皆様方は今後の授業や学生生活について、心配されていると思います。これまでも学生及び教職員の健康・安全と、学生の学修を第一として、オンライン授業の実施や登校を伴う実習など様々な医学教育の場面に対応してきました。新型コロナウイルス感染が急速に拡大し、準備時間も制約されているなかで構築したオンライン授業には、当初は不安の声も聞かれましたが、学生の学力向上のため教職員一丸となって取り組んできました。今後も、前期で終了できなかった授業や不足した実習などは積極的に補習し、学修の機会を可能な限り損なわないように、適切な学力評価と指導をいたします。

新型コロナウイルス感染症は、未だその実態は不透明ですが、今後もウィズ コロナ社会に対応し、感染リスクを可能な限り低減しながら、本学の使命である「良き臨床医の育成」を実践していく強い決意は変わりません。

本学は、医学・医療の高い専門的知識を持つプロフェッショナルな立場より、感染拡大から学生・教職員を守るための対策を実施しています。附属板橋病院、日本大学病院は、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れる傍ら、学生・教職員の健康管理、学内・院内感染拡大を防止する数々の対策を講じ、その対応に高い社会的評価をいただいています。これら取り組みには、関連病院や全国の医学部同窓生等の皆様から、臨床現場で不足している防護服やマスクなどの沢山の寄付と熱い応援をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

日本大学医学部の教育理念である「醫明博愛」の醫明には、病める患者に光をあて、医学の疑問に対し研究をかさね、学ぶ者にその門をあけるとの意義があります。今後も、患者さんと学生・教職員の皆さんの健康と命を第一に考えると同時に、「博愛」の心を持って、この学府で学び働く皆さんを全力でサポートすると共に、より一層の社会への貢献に努力してまいります。

保護者の皆様におかれましても、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における本学の取り組みに対し、ご理解・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

令和2年9月24日

日本大学医学部長 高山 忠利